

もり 森林とのふれあい！

株式会社 棟匠 「社会貢献の森」 整備活動



ディンプルで穴をあけ（上）、そこに苗木を植えます（下）



記念にパチリ

今回は協定締結後第一回となるイベントで、棟匠社員及びボランティア等約50名がスギ苗木の植樹を当署及び美和木材協同組合職員の指導のもと行いました。

「社会貢献の森」とは、森林整備に取り組みたいという企業等の要望に応えるため、企業と森林管理署が協定を結び国有林を森林整備のフィールドとして提供するもので、『未来へ繋ぐ棟匠の森』は、令和元年8月、株式会社棟匠と茨城森林管理署との間で協定が締結され、以降5年にわたって株式会社棟匠が主体となって植樹や刈等を行います。

10月3日木（土）に行われた株式会社棟匠「社会貢献の森」〜未来へ繋ぐ棟匠の森〜の整備活動が、城里町の梅香沢国有林で行われました。

棟匠石川社長から、棟匠の進める森づくりの活動についての説明、次いで、茨城署の飯村総括森林整備官から、棟匠の森づくり活動への敬意の言葉、協定締結までの経緯の説明の後、植樹が行われました。

参加者の皆さんが一所懸命に植えた苗木が5年後にどのくらい大きくなって、数十年後にはどのような森林になるのか、今から楽しみです。そして棟匠の立てる家の材料となるかもしれません。

（おまかせ）

